

高美小学校授業だより

R7.5.23.

5年1組の総合の授業におじゃましました。

★目標に向かって、自分で調整★

社会科で様々な国とその位置を学習し、そこから派生した国調べの発表会でした。子どもたちは初めてのパワーポイント作成にチャレンジしました。調べる国を自分で決め、取り組みました。

①発表会の時期

②パワーポイントをつかってできること

③発表する内容の例

④読み原稿の作成

について確認し、あとは自分のペースと相談して量を調節しながら準備を進めてこられたそうです。まず驚いたのは全員が期日までに発表の準備を整えたこと！必要があれば休み時間などの隙間時間を使って準備をしてきたとのことでした。「自分からすすんで学習に取り組む姿勢」ですね。

★前向きな声掛け★

すすんで取り組む姿勢が感じられた場面はほかにもありました。子どもたちの「早く発表したい！」という雰囲気はもちろん、聞く側の反応もとても前向きでした。「おー！すごい！」「これどうやったんやろ？」少しテンションが上がりすぎている子に対して、別の子が「発表の邪魔になるからもう少し静かにして。」と声をかけるシーンも見られました。気を付けてそれぞれの反応を見てみました。一番初めに前向きな反応をしていたのは、中田先生でした。そうか、これを真似てみんなどんな声をかけるとよいか考えていたのか。子どもたちに学習のペースは

委ねつつ、その道筋の大枠と、前向きな雰囲気づくりを先生がされることで、安心して取り組むことができるのだなと感じました。機器のちょっとしたトラブルがあっても慌てることなく対応されており、子どもたちも急かすことなく待ち、スライドの枚数や内容がそれぞれ違っていても、お互いの頑張りを認め合う空気がありました。

～まとめ～

初めて使うパワーポイント。ついつい「まずこうやって、次にこうやって、それからこうして…」と説明的になりがちですが、あえてそこで子どもたちにペースを委ねる。それぞれつまづくポイントが異なるため、個別で声を掛けたり、一人ひとりの現在地を逐一確認したりすることが必要です。大変な部分はもちろんありますが、結果的にそれが発表会でのあたたかい雰囲気や、それぞれの達成感につながったのではないかと思います。総合学習の時間だけでなく、他の教科の学習時間においても同様だと思います。前向きな雰囲気をつくる声かけや、安心して自分のペースで学習することができるような工夫について考える機会となりました。中田先生、5年1組のみなさん、ありがとうございました。

